



2018-2019 年度 第 1808 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：田中正夫 幹事：磯貝 太 広報委員会リーダー：若林博純

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ<<水曜 12:30>>

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）



4 月 第 1 例会

2019 年 4 月 3 日(水)



会員数 53 名 出席 28 名

司 会

長谷川 博夫 会場監督 (S. A. A)

● ロータリーソング「奉仕の理想」

ビジター紹介

梶田 健司 親睦委員

§ 竹田真臣 様（第 2550 地区 RLI 委員会 運営委員長・宇都宮陽東 RC・卓話者）

§ 濱崎 崇 様（第 2550 地区 RLI 委員会 運営委員・宇都宮西 RC・卓話者）

会長の時間

田中 正夫 会長

こんにちは。ロータリークラブの創立者ポール・ハリスは次のような言葉を残されています。「ロータリーの目標は、抑制ではなく、奨励です。受け身ではなく、積極的人生を奨励しています。」今日の例会では、RLI 委員会運営委員長の竹田真臣様をお招きしまして「RLI について」の卓話をいただきます。よろしくお願いいたします。私も RLI に参加したことがあります。そこでは、積極的に自由な発言が奨励されていました。画期的ですばらしいと思いました。本当に良かったです。皆さんも是非参加されることをお勧めします。

今日の例会が、少しでも多く皆様のお役に立つことを願ひまして、会長の挨拶とさせていただきます。

幹事報告

磯貝 太 幹事

§ 訃報

板橋敏雄 様（享年 88 歳）が 3 月 25 日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

足利東ロータリークラブ 2001-2003 年度国際ロータリー理事 米山記念奨学会元理事長 1987-1988 年度第 2550 地区ガバナー（通夜及び葬儀詳細は FAX 配信）

§ 本日例会終了後、理事役員会を開催致します。

§ 3 月 31 日桑田豊豪会員が転勤のため後任の嘉屋様が 4 月 10 日オブザーバーとして出席致します。

§ 4 月 27 日(土)足尾植樹にインターアクト 22 名当クラブ 8 名参加となります。参加ご希望の方は黒崎院長までお申し出ください。

スマイルボックス委員会報告

長谷川 博夫 委員長

§ 竹田真臣 様 第 2550 地区 RLI 委員会 運営委員長

RLI の卓話に参りました。本日はよろしくお願い致します。

§ 田中正夫会長 竹田さんのお話を楽しみにしています。

§ 藤島 拓副会長 竹田委員長様、本日は次年度に向けて「RLI」を勉強させていただきます。よろしくお願い致します。

§ 磯貝 太幹事 竹田様、卓話よろしくお願い致します。

§ 仲田俊夫会員 竹田様、濱崎様卓話よろしくお願い致します。

§ 若月章男会員 新しい元号が決まり、平成元年入会の私はチョッピリ淋しい思いがします。今日は竹田さん、濱崎さんの RLI の卓話を聞いて心機一転ロータリー活動に励みます。

§ 関口 隆会員 竹田様 RLI 運営委員長と本日の卓話ご苦労様です。

§ 山本敬三会員 竹田さんに万歳！

§ 酒澤伸二会員 竹田様、本日の卓話をどうぞよろしくお願い致します。

§ 長谷川博夫会員 本日、竹田様よろしくお願い致します。

§ 田村一夫会員 午前中、独協にて CT の検査をしてきました。良い結果であると良いのですが、皆様も体が不幸の時は早めに検査を受けましょう。元ステージ 4 の患者より。

§ 小保方明美会員 4 月なのに寒いですねー。境内の桜もやっと咲き出しましたが、寒いねーと言っています。

§ 荒井健次会員 妻誕生祝ありがとうございます。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 15,000 円

4 月のお祝い事

黒崎 丈博 委員

§ 入会記念 高久和男会員・田口久雄会員・長谷川博夫会員・川又俊治会員・桑田豊豪会員
関 昌也会員

§ 会員誕生 若月章男会員・若林博純会員・坂井俊司会員・山本敬三会員

§ 夫人誕生 黒崎丈博会員

§ 創立記念 坂本昭一会員 (株)新光印刷 ・ 若林博純会員 (株) 若林 ・ 仁平尚輝会員 (株) ARC
菊池功会員 (株) 八幡 ・ 田口久雄会員 (株) ツインズ
高久和男会員 イートランド(株) ・ 黒崎丈博会員 (株) 輝工業
長谷川博夫会員 (株) デザインオフィス・スイッチ

§ 結婚記念 金田秀壽会員・荻原英美会員・坂本昭一会員・藤島拓会員・嶋田辰雄会員・小保方明美会員

インターアクト委員会報告

黒崎 丈博 委員長

§ 4 月 27 日(土)足尾植樹にインターアクト 22 名当クラブ 8 名参加となります。参加ご希望の方は黒崎院長までお申し出ください。

招待卓話

第 2550 地区 RLI 委員会 運営委員長 竹田 真臣 様

Rotary Leadership Institute

- ロータリーリーダーシップ研究会 -

* パワーポイントにより、RLI についてお話がございました。



出席報告 荒井 健次 委員

会員数 53 名 前々回 3 月 20 日
 出席数 22 名 訂正率 67.50%
 欠席数 31 名
 出席率 55.00%

例会予定

第 1809 回 4 月 10 日(水)
 夜間例会 「観桜会」

プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第 1810 回 4 月 17 日(水)	12 : 30 ~ 13 : 30	招待卓話 中山栄基様	ホテルニューイタ ヤ
第 1811 回 4 月 24 日(水)	12 : 30 ~ 13 : 30	招待卓話 うつのみや花火大会 会長	ホテルニューイタ ヤ



Rotary Leadership Institute － ロータリーリーダーシップ研究会 －

宇都宮南ロータリークラブ様 卓話

2019年4月3日(水)

RLI委員長 中谷研一

運営委員長 竹田真臣

(RLI日本支部ファシリテーター委員長 中村靖治PDG資料より)

Rotary Leadership Institute (RLI)

ロータリーリーダーシップ研究会

概要

RLIは1992年、元RI理事デビット・リンネット氏の発案
ロータリアンの指導力開発を目的としたプログラムとして
設立されました

ニュージャージー州 (RID-7510) から始まり、米国内各地、カナダ、インド、フランス、アジアと広がり、現在では300地区を超えて採用されております



RLI創設された時代

■ 全世界で会員減少が止まらない

残念な事に、十分な知識を持たず、話合いもできず、十分に理解されないままロータリーを去って行く人が多い現実。どう考えればよいか？

■ 基本的課題とは、

ロータリーを理解し、ロータリアンとして活動する為には、クラブの底辺から1人ひとりの会員が、自発的に自覚を持った話合いをして、ロータリーを理解する事が必要と結論。



ロータリークラブにおける研修の必要性

- ロータリークラブの指導者の中には、ロータリーに対する僅かな知識しか持たず、クラブの活動を前進させていくのに必要な指導力がないままに就任するケースが多い。
- 良い指導者のいるクラブでは、価値あるプロジェクトに多くの会員が関わりロータリアンとしての充実感を体験して質の高い例会を実践している。結果として会員を育て、会員基盤を維持し、退会防止につながる



RLIの必要性

ロータリアンが、

- ①ロータリーに関する十分な知識を持つ
- ②効果的なクラブ造る
- ③各種プログラムを推進させる為に十分な積極性を発揮できる
- ④一般的な会員を対象に指導力育成の機会の提供が必要。



RLIの目的(1)

ロータリアンの

①自主性

②卓越した指導性

③クラブの刷新性と柔軟性

を育て、その結果として

ロータリーを活性化することが急務



RLIの目的(2)

クラブの特定のリーダーを養成することではなく

① 一人ひとりの会員のリーダーシップ
(指導力)

を育み

② クラブを活性化することです



RLIの根本的理念

質の高いリーダーシップの研修を通じて、

① クラブの活性化

を主目的とする。

② 草の根の多地区合同プログラム

である。





ロータリアンとしての、

リーダーシップ育成の具体的な方法

ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute (RLI)

RLI 参加者テキスト



RLI 日本支部

カリキュラム委員会

RLI は

ロータリアンが
ロータリーへの思いを
自由に語り合い
個々の
モチベーションを確実に
高めていく研修会

ロータリーを語ろう



R.L.I はセッション方式

講義形式ではなくActive Studyを行う



RLI研修カリキュラム

- 本部で準備した国際的に統一された教材を使用
(基本コース)

パート1、パート2、パート3の3日間と卒後研修

＊ 卒後研修は任意

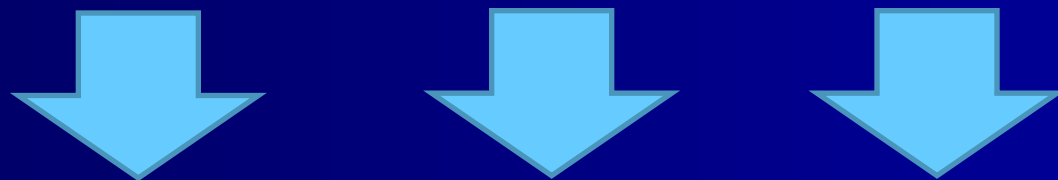
(方法)

各パートごとに6セッション。1セッション7名前後の少人数のグループで実施。参加者1人が6セッション全てを順番にまわり研修を行う。



RLI研修現場の進め方

ディスカッション・リーダーは内容を説明するのではなく、参加者の意見や質問に対し、参加者がお互い意見を述べあうことをサポートし、一人でも多くの参加者に語らせることが必要となります。



関心が高まり学び方を会得
ロータリーへのモチベーションが高まる



ファシリテーター(DL)による研修







ロータリーを語ろう

日本では現在21地区にて実施



PARTごとに6セッション

(1セッション50分)





セッション内容①

■パート1 2019/08/25(日)

- 1.リーダーシップの本質をつかむ
- 2.私のロータリー世界
- 3.倫理と職業奉仕
- 4.財団 I 私たちの財団
- 5.会員を引き込む
- 6.奉仕プロジェクトを創造する



セッション内容②

■パート2 2019/10/06(日)

- 1.戦略計画とクラブの分析
- 2.会員を惹きつける
- 3.チーム作り、クラブコミュニケーション
- 4.財団Ⅱ 目標とする奉仕
- 5.強いクラブを作る
- 6.米山記念奨学事業



セッション内容③

■パート3 2019/12/08(日)

- 1.ロータリーの世界
- 2.効果的なリーダーシップ戦略
- 3.財団Ⅲ 国際奉仕
- 4.公共イメージと広報
- 5.規定審議会 The Council on Legislation
- 6.変化をもたらす

セッション例

6 米山記念奨学事業

(米山記念奨学事業の基本と事業の意義)

セッションの目標

ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。1952年にスタートし、1967年、現文部科学省を主務官庁とする「財団法人ロータリー米山記念奨学会(現在は公益財団法人)」が設立されました。全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の34地区による「多地区合同活動」として、全国のロータリークラブ、地区が米山記念奨学会の活動を支えています。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

セッションの話題

- 1) ロータリー米山記念事業について
 ① 事業の使命
 ② この事業の特徴は

- 2) 2017-18は財団設立
 皆様のクラブでは米山記念奨学

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

「ロータリー豆辞典より」



受講者のRLI評価

- 他クラブの方々とお話できて良かった
- みんな同じような悩みを抱えてると思った
- クラブを超えて知人が出来、親睦の輪が広がった
- 自分の職務の遂行に自信が持てた(会長エレクト)
- ワークショップ形式は大変良い
- カリキュラムが系統だっており大変良い
- ここ数年のロータリーの中で1番楽しかった

参加者の97%が良かったとの感想

RID2550初のパート1-3 修了者！

2017年10月27日(金曜日)

RID2570のRLIパート3に
当地区委員が参加してきました

RID2550初の修了者
真岡西RC 大越善彦さん



2017年～2019年 卒業生34名
延べ受講者数 207名 受講クラブ 39クラブ



ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI)

RLIを通して皆さんと一緒に、

- ロータリーを楽しく語り合しましょう
- 多くの異なる考えを受入れ、新たな知識を獲得しましょう
- クラブを超え、親睦を深めましょう
- クラブ活性化の為、共に努力しましょう

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

そして多くの皆様のご参加をお待ちしております。



RLI委員会

RLI委員長中谷研一 委員28名

2017-18年度(太城年度)より活動を開始

①RLI運営委員会:3名前後

②DL委員会:5名前後

各委員会委員に関しては、地区内51クラブに公募致します。



中谷委員長からのメッセージ



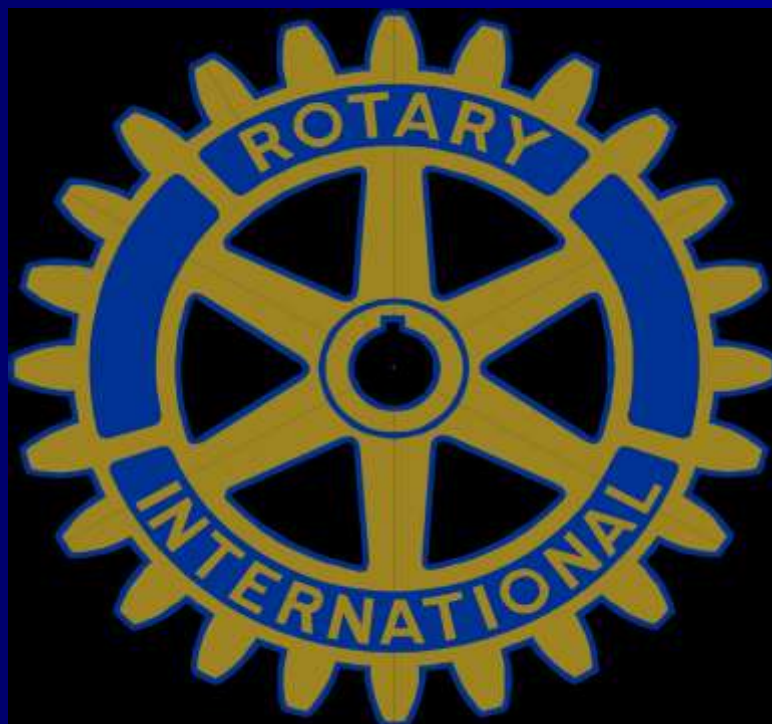
宇都宮南RCの皆さま、卓話の機会を頂きましたが本日はお伺いできず大変申し訳ございません。

RLIを通じ皆さんと共にロータリーを学び、共にロータリーを楽しみ、多くの仲間を作りましょう！

次年度は8月25日、10月6日、12月8日に開催いたします。

ぜひRLIにご理解いただき多くのご参加お待ちしております。

また、RLI委員の仲間も募集しております。よろしく願いいたします。



御清聴有難うございました